

02  
2025

# Hiroshima Center Rotary Club

Monthly Magazine

vol.20



ロンガルス絵画同好会 上原悠爾会員作品 「スペインの白い家」

# 広島中央 ロータリークラブ

## 活動記録：2025年2月のまとめ

### 事務局

例会日：毎週月曜 12:30～13:30  
例会場：リーガロイヤルホテル広島  
広島市中区基町6-78  
リーガロイヤルホテル広島13F  
TEL：082-221-4894  
FAX：082-221-4870  
E-mail：hcrcl@godorc.gr.jp  
URL：https://hcrcl.gr.jp/



2025/2/3

第2047回例会

#### 場所

リーガロイヤルホテル広島

#### 本日のプログラム

ゲスト卓話「肺がん治療の最前線」

#### 卓話者

広島大学呼吸器外科教授 岡田 守人 様

#### 担当委員会

プログラム

#### 祝事等

- ・会員誕生日（7名）  
追田 大内 長場 岡田 大本 杉本 砂田
- ・特別なお祝い（喜寿）上原
- ・配偶者誕生日（3名）下原 藤村 河野

#### 会長時間

ロータリーの特別月間「平和構築と紛争予防月間」

本日は例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。暦の上では、立春となりましたが、まだまだ寒い日が続きます。特に今週は寒気が訪れるとの予報ですので、皆様くれぐれもお身体にはご自愛ください。

本日はゲスト卓話の講師として、広島大学 呼吸器外科教授 岡田守人様にお越しいただきました。後ほど卓話をよろしく申し上げます。

先週末の2月1日に広島東南ロータリークラブの創立65周年記念式典・祝賀会に西井幹事と一緒に出席いたしました。海外のパールハーバーRCと台中RCに加え、今回新たに国内の仙台南RCと姉妹提携をされました。更に進化し続ける先輩RCに感銘を受けました。

さて、本年1月に米国カリフォルニア州ロサンゼルスで発生しました山火事ですが、29名がお亡くなりになり甚大な被害をもたらし、31日ようやく鎮火しました。大谷選手が50万ドル(約7,800万円)寄付をされたという報道もございましたが、当クラブとしましても、この火災の被災者への義援金として、国際奉仕活動の一環として6,000ドルの拠出を先月の臨時理

事会でご承認いただき、送金先と送金方法については提携クラブであるサンタローザ・サンライズRCと協議中です。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。送金等が確定致しましたら、またご報告させていただきます。

また、今週末の2月9日にはインターシティ・ミーティングが予定されています。是非とも多くの会員の方にご出席いただきたいと思ひます。

2月はロータリーの特別月間として「平和構築と紛争予防月間」が定められています。ロータリーは創立以来、平和と国際理解の推進を使命として活動してきました。この月間を機に、私達も改めて世界の平和について考えたいと思ひます。

ロータリーの基本理念は「奉仕」です。私達は世界的なネットワークを活かし、国際理解、親善、平和の推進に貢献する責任があります。平和は単に戦争を防ぐことだけではなく、貧困をなくし、教育の機会を広げ、すべての人が安心して生活できる環境をつくることでもあります。また、ロータリー平和センターを通じて、紛争予防と仲裁に関する若者を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防/紛争に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を行っていくことも重要です。

この「平和構築と紛争予防月間」を機に、私達一人ひとりが「平和とは何か」「ロータリアンとして何ができるのか」を改めて考え、日々の活動につなげていければと思ひます。

#### ゲスト卓話の風景



卓話者:広島大学呼吸器外科教授 岡田守人様

## 場所

リーガロイヤルホテル広島

## 本日のプログラム

ゲスト卓話

## 卓話者

被爆体験伝承者 増本 夏海 様

## 担当委員会

プログラム

## ゲスト

RI第2710地区G7ガバナー補佐：佐藤 二郎 様  
米山奨学生 李 道宇さん

## 祝事等

- ・連続出席表彰（2名）頼岡 三宅
- ・結婚記念日（4名）大田 新宮 西川 済 下原

## 会長時間

## ●ガバナー補佐よりIM参加の御礼

「インターシティ・ミーティング」

皆様、こんにちは。例会のご出席ご苦労様です。寒い日が続いておりますが、くれぐれもご自愛ください。

本日は、ゲスト卓話の講師として、被爆体験伝承者 増本夏海様にお越しいただきました。後ほど卓話をよろしくお願ひします。

また、国際ロータリー第2710地区G7 ガバナー補佐 佐藤二郎様、米山奨学生 李 道宇さんにお越しいただきました。例会をお楽しみください。

昨日は2024-25年度 RI 第2710地区 グループ6・7合同 インターシティ・ミーティングが行われました。当クラブからも多数の会員の皆様にご出席いただきましてありがとうございます。

内容を要約してお話します。記念講演では、俳優で朗読座主宰の紺野美沙子さんによる「今だから平和を!」と題する講演と「星は見ている」と題する朗読がございました。紺野美沙子さんは、国連開発計画(UNDP)親善大使として27年間国連開発計画の活動を広く多くの方々に知っていただくための広報活動をしておられます。因みに、UNDPは貧困や格差、気候変動といった不公正に終止符を打つために闘う国連の主要機関です。(URLは以下です。 <https://www.undp.org/ja/japan>) SDGsは次世代への思いやりであり、大切なものを若い人達に引き継ぐ重要性や仲間を増やすことの大切さについて話されました。

「星は見ている」の朗読では、広島一中の被爆者の父母による手記を基に、広島原爆被災直後の被害家族の状況を映像と共に詳しくお話され、原爆による被害の恐ろしさと

残された家族の悲しさと無念さを改めて感じました。私事で恐縮ですが、私の叔父も広島一中で原爆で亡くなっており、毎年「広島一中原爆死没者慰霊祭」に出席させていただいており、「星は見ている」の手記集も読んでおります。今回はその手記集の内の藤野としえさんの手記を紺野さんに朗読していただきました。俳優というプロの話し手の方に映像とともに朗読していただくと、視聴者に訴える力はより大きいですし、各人の得意分野を使って広げていくことの重要性を感じました。(下記のサイトから視聴できます。紺野美沙子オフィシャルサイト 朗読座)

ロータリー120周年記念事業報告では、広島城を築城し、現在の広島市の原形を作られた毛利輝元の没後400年に鑑み、毛利輝元の銅像をクラウドファンディングで作られるのに合わせて、ロータリーとしてその銅像の舞台と土台と説明板を作ることが報告されました。4月27日に除幕式が行われる予定です。

広島安佐ロータリークラブの皆さんの素晴らしい企画・運営で、平和について考えるよい機会となりました。



連続出席表彰

## ゲスト卓話の風景



卓話者:被爆体験伝承者 増本夏海様

## 場所

リーガロイヤルホテル広島

## 本日のプログラム

会員卓話「広島中央ロータリークラブの歴史と変遷  
～創立50周年に向かって～」

## 卓話者

田原 榮一 会員

## 担当委員会

プログラム

## 祝事等

ニコニコ箱時間に紹介 (S.A.A委員長)

- ・入会月 (3名) 頼岡 三宅 石原
- ・創業月 (8名) 西川 砂田 吉川恵 澁谷 新宮  
山本 緒方 光村

## 会長時間

「ロータリークラブ創立120周年」

皆様、こんにちは。例会のご出席ご苦労様です。

本日は、広島南ロータリークラブの和泉真様にお越しいただきました。例会をお楽しみください。

本日の会員卓話では、「広島中央ロータリークラブの歴史の変遷～創立50周年に向かって～」という題名で田原会員に卓話をいただきます。田原会員、宜しくお願いします。

今週末の2月23日は、ロータリークラブ創立120周年です。

ロータリークラブは、1905年2月23日、米国シカゴの弁護士ポール・ハリスが、3人の友人(ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー)と共に設立しました。当初、会員の職場を持ち回りで会合を開いていたことから「ロータリー」と名付けられ、親睦と相互扶助を目的としていました。1907年にはシカゴ市内に公衆トイレを設置する初の公共奉仕活動を行い、これを機に奉仕活動が活動の中心となりました。その後、ロータリーは全米から世界各地へと広がり、1920年には日本初のクラブである東京ロータリークラブが設立されました。現在では、世界200以上の国と地域に約140万人の会員を擁する国際的な組織となっています。

ロータリークラブが今後も持続的に発展し、社会に貢献し続けるためには、社会の変化に柔軟に対応して、以下のような課題にも取り組んでいくことも求められると思います。

1. 多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) の推進:ロータリーは、多様な背景を持つ人々が集う組織であり続けるために、性別、年齢、人種、職業などの多様性を尊重し、公平で包摂的な文化を育む必要があります。

2. 会員基盤の拡大と若年層の参加促進:若い世代にロータリーの魅力を伝え、参加を促す必要があります。そのためには、SNSの活用や若年層向けの奉仕プロジェクトの実施など、

現代のコミュニケーション手法を取り入れることが効果的かと思います。

3. 地域社会との連携強化:ロータリークラブは、地域社会のニーズに応じた奉仕活動を行うことで、その存在意義を高めてきました。今後も地域との連携を強化し、持続可能なプロジェクトを推進することで、地域からの信頼と支持を得ることが重要です。

4. 環境問題への取り組み:近年、環境保護は世界的な課題となっており、ロータリーも環境の持続可能性を重点分野として掲げています。環境保護に関するプロジェクトを推進し、地球規模の課題解決に貢献することが求められます。

5. デジタル化の推進:テクノロジーの進化に伴い、オンラインでの会合やデジタルツールの活用が増加しています。これにより、地理的な制約を超えて会員同士が交流し、情報を共有することが可能となります。デジタル化を推進し、効率的なクラブ運営と情報発信を行うことが重要です。

そして、何よりも重要なのは、現在おられる会員にとって楽しい場であることです。奉仕活動のみならず同好会活動等も通じて仲間と楽しい時を過ごしましょう。

ロータリークラブは、これらの課題に積極的に取り組むことで、社会における影響力を高め、次の100年に向けて持続的な発展を遂げることができるのではないのでしょうか。

以上で会長時間とさせていただきます。

## 会員卓話の風景



卓話者:田原榮一会員

卓話内容は  
ホームページに  
掲載しております

